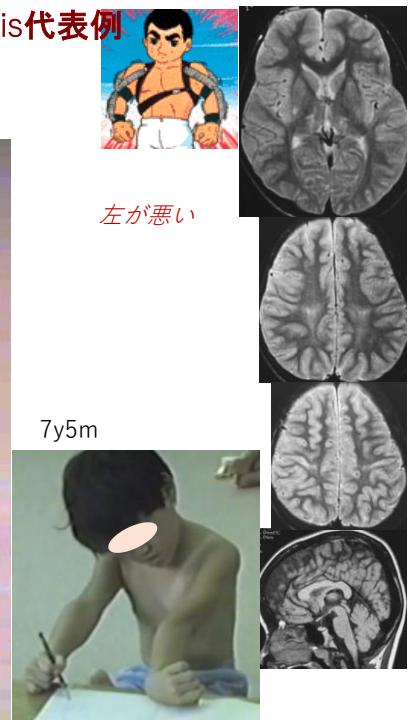




1



左が悪い



2



3





- ・股膝屈曲位の膝を支点として、小範囲の股伸展と大範囲の股外旋を行う
- ・体幹伸展・回旋(荷重側へ)・側屈(荷重側凸)を同時に行う
- ・前外側に手を置き、肘伸展ロックした状態で、手を内後側にひく [肩内転・屈曲] 手を振り降ろす動き
- ・荷重時股最大伸展は右の方がいい
- ・回旋角は右向きの方が大きい

5



6



7



膝歩き

4y3m



弱い回旋ハイハイ



Frozen gait



9

左が悪い

10y5m



10



11



- 立脚肢は股伸展域まで行かず、立脚初期に骨盤前出し、膝は反張する。足底屈し、伸び上がって推進する
 - *足底屈と膝反張の主動筋は下腿三頭筋である
 - *膝反張となれば、hamstringは股伸展に働き、遊脚開始の股屈曲に抵抗する 強い股屈筋は立脚期の股伸展に抵抗するが
- 体幹前傾し、体幹回旋、骨盤前出しを使う
- 上肢は側方拳上

股屈筋をほどくため股伸筋・足底屈筋が過収縮し、ほどけない状態となる

12



立脚肢は股伸展域まで行かず、立脚初期に骨盤前出し、膝は反張する。足底屈し、伸び上がって推進する



13



14

12y10m



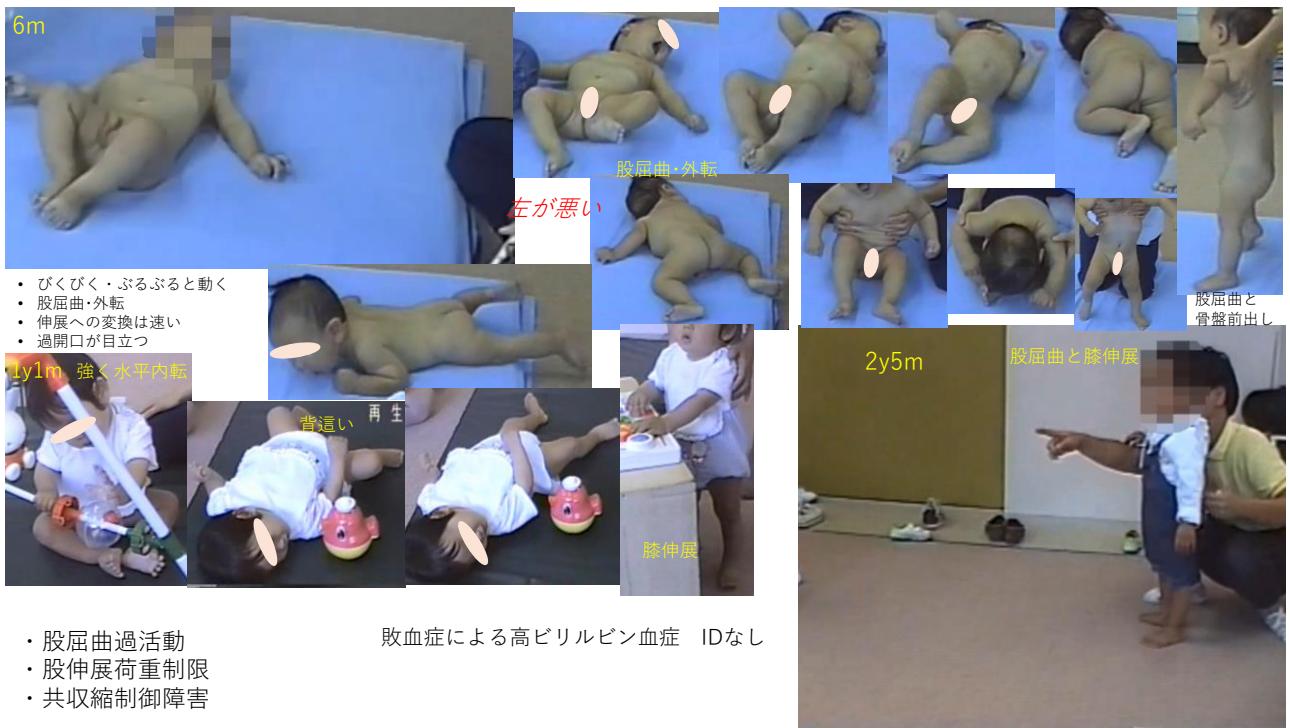
15



右：股伸展域にいかず、屈曲もわずか 膝の屈曲もわずか 股屈筋・伸筋とも持続過収縮状態
左：股屈曲はそれなりにできるが、股伸展域にはいかず 膝の屈伸はできる 股伸筋の持続過収縮は弱い

体幹前傾・頸後屈は、股屈曲に対応して固まる

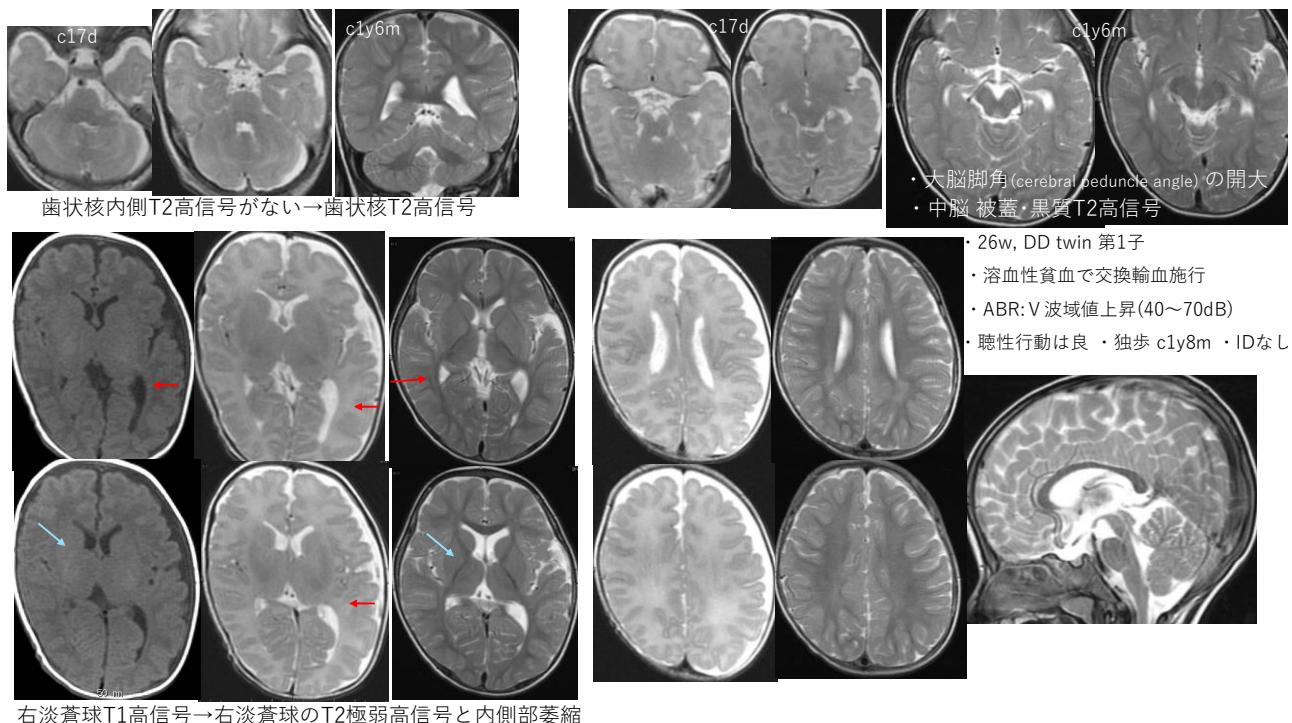
16



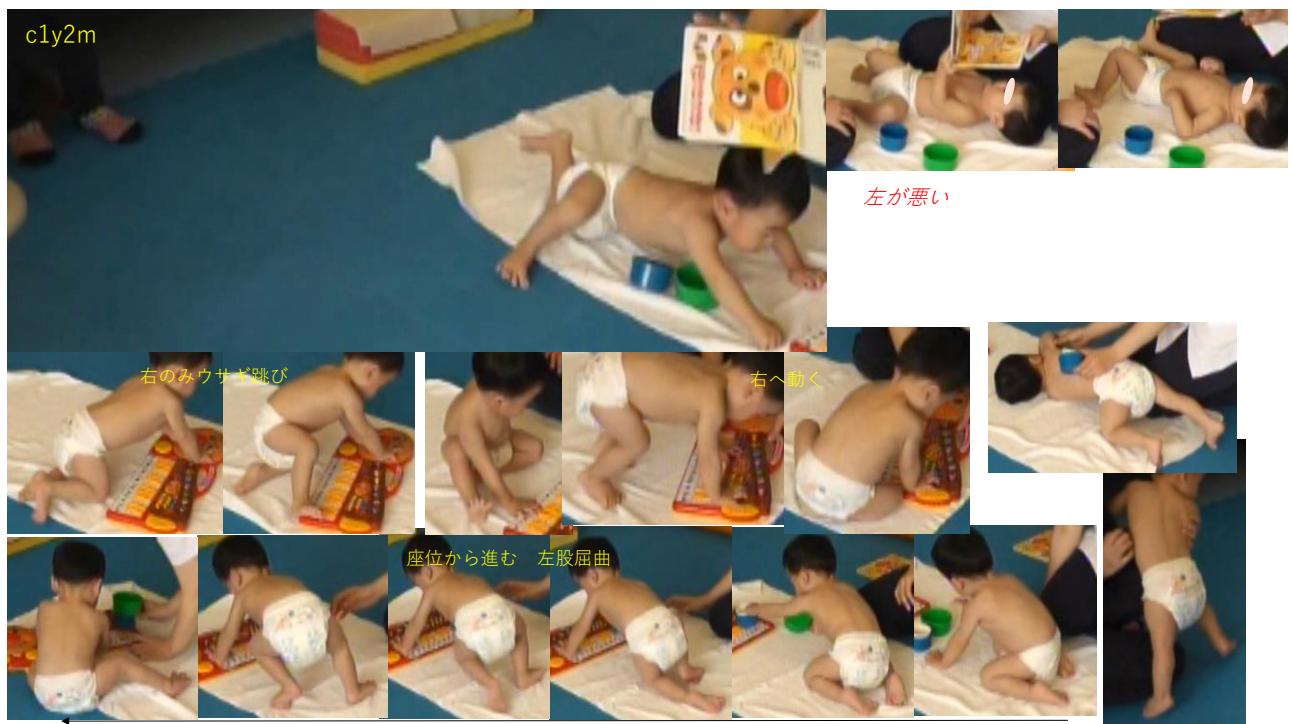
17



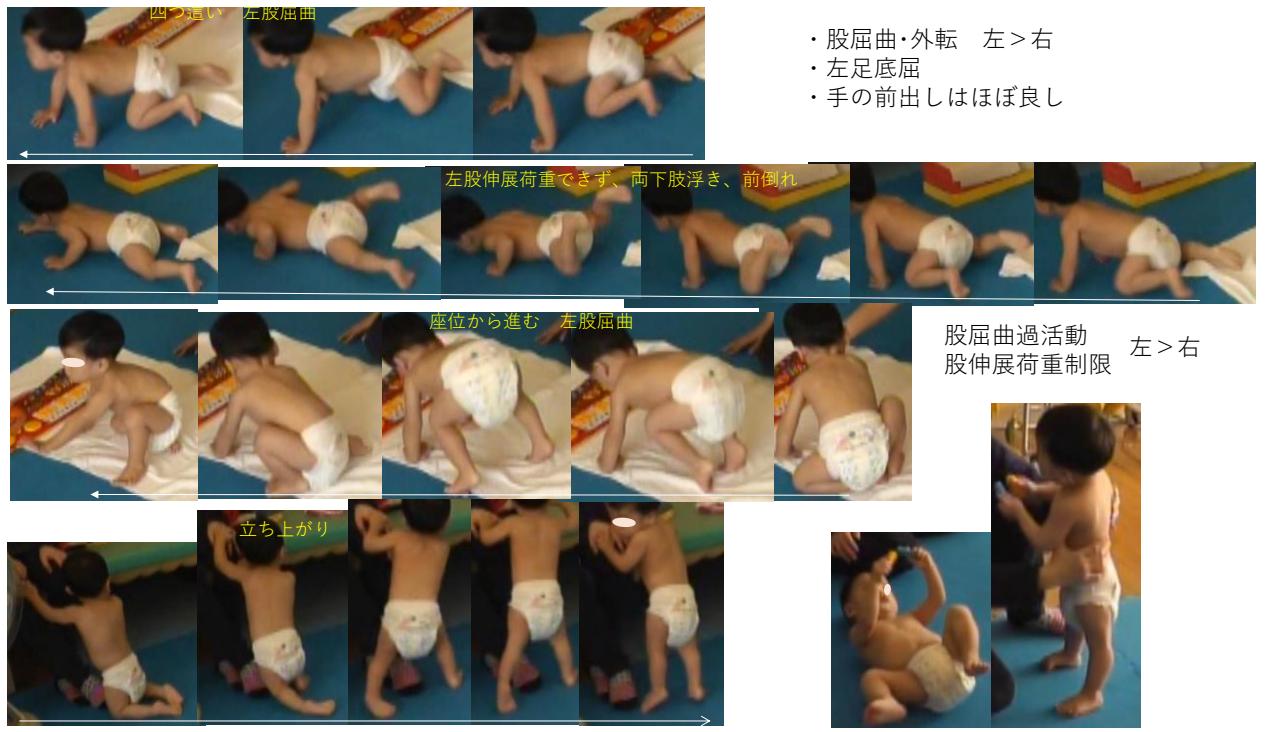
18



19



20

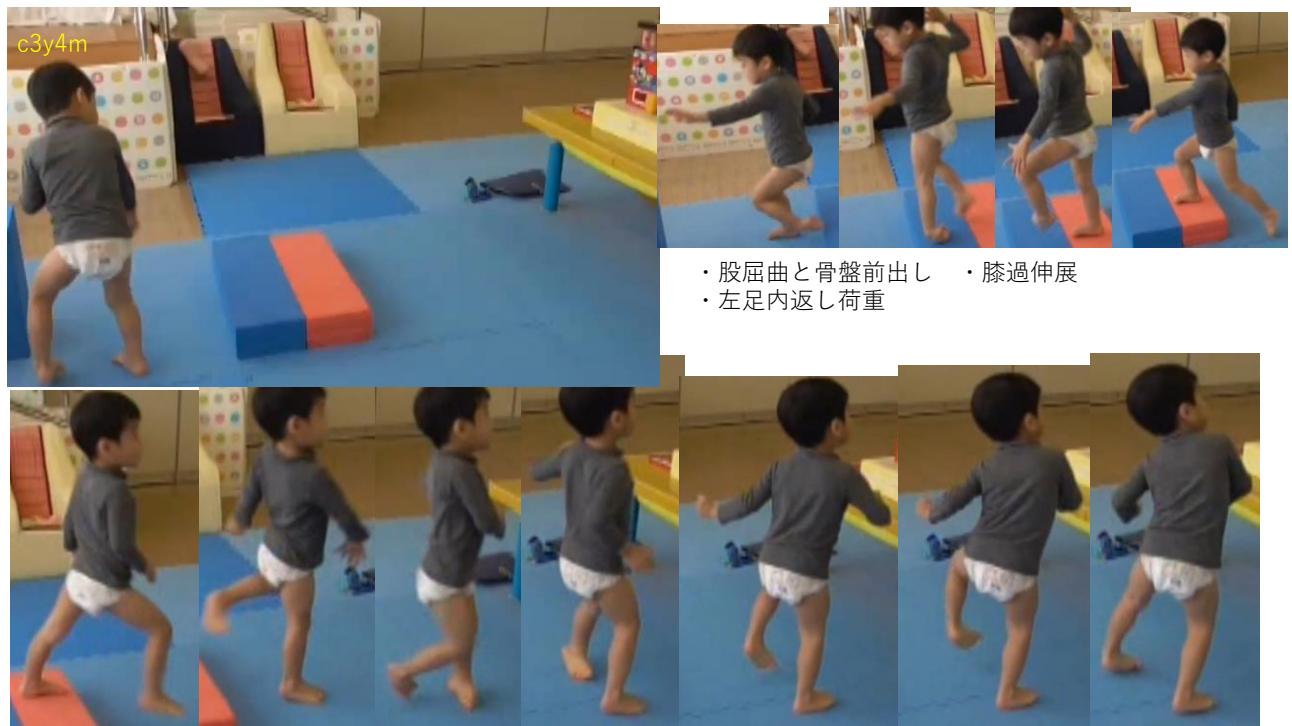


21

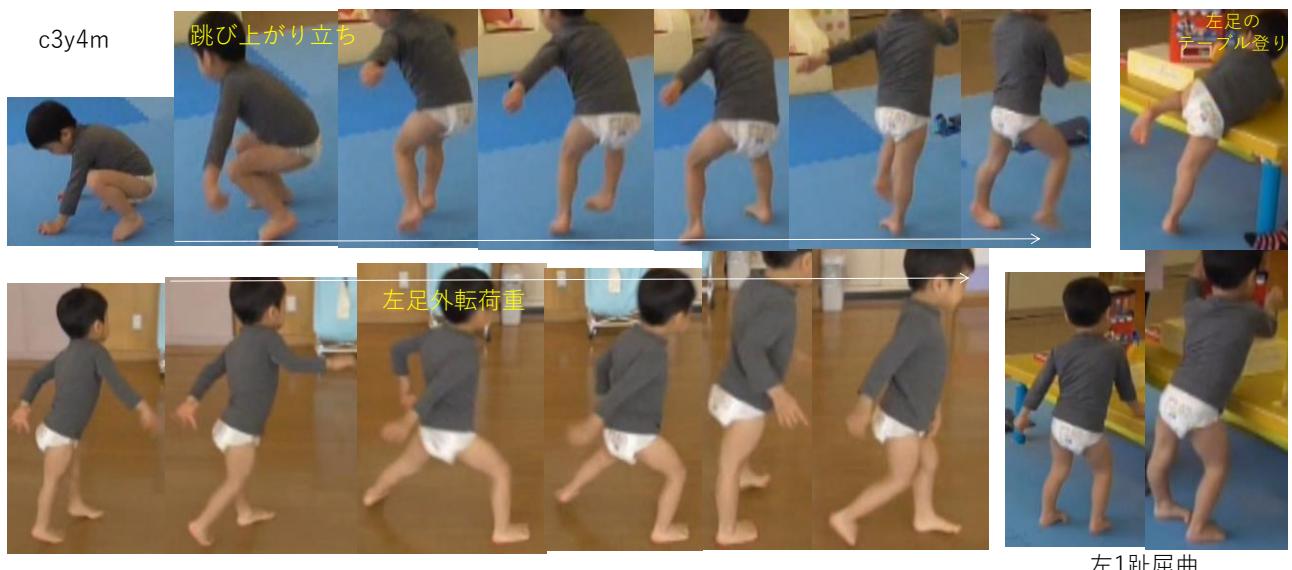


- 股屈強い・腰椎前弯
- 立脚時の膝反張 左 > 右
- 右の踏みしめ
- 凹足 左 > 右
- 肩の引け

22



23



- ・股屈曲と骨盤前出し
- ・膝過伸展
- ・左足内返し荷重

股屈曲過活動
股伸展荷重制限
共収縮制御障害

上肢はいい

左下肢の伸展優位の共収縮は足底屈内反となる

24